PRP治療を受けられる患者様へ

（PRP治療の説明書）

はじめに

この説明書はPRP治療の内容・目的などについて説明するものです。

この治療は治療名『自己多血小板血漿（Platelet-rich Plasma:PRP）を用いた筋腱付着部炎・筋損傷、靭帯損傷の治癒促進』として『再生医療等の安全性の確保に関する法律』に基づき厚生労働省に届出を行い実施される治療となります。

（提供計画番号：PC3170038　　受理日：2017年4月27日）

治療を受けられる方から採取した血液は無償でご提供いただくことになり、本治療の目的以外で使用することはありません。また採取した血液から作製されたPRPについては、微量であるため保存いたしません。

よくお読みいただくとともに、医師の説明をよくお聞きになり、PRP療法をお受けになるか否かをお決め下さい。お受けになる場合には、同意書に署名し、日付を記載して担当医師にお渡しください。

PRP治療とは

PRPとは、Platelet-Rich Plasmaを略した名称です。日本語では多血小板血漿と呼ばれていて、血小板の濃縮液を活性化したものを指しています。

血液１mm3当りに10万～40万個含まれる血小板は、血管が損傷したとき損傷した場所に集まって止血をするのですが、その際に多量の成長因子を放出します。この成長因子には、組織修復のプロセスを開始する働きがあります。

PRP治療とは、PRPに含まれる成長因子（下に詳細を記します）の力を利用して、人が本来持っている治癒能力や組織修復能力・再生能力を最大限に引き出す治療です。ご自身の血液成分だけを用いた治療ですので、免疫反応が起きにくいという点も大きなメリットです。

1週間～6か月で組織の修復が起こり、治療後2週間～3か月に効果の出現が期待できます。また、繰り返し治療を行うことも可能です。

PRPに含まれる主な成長因子とその働き

・血小板由来成長因子（PDGF-aa, PDGF-ab, PDGF-bb）

細胞の複製を刺激します。　血管形成・上皮形成・肉芽組織形成を促進します。

・形質転換成長因子（TGF-β1, TGF-β2）

細胞外マトリックス形成を促進します。　骨細胞の代謝を調節します。

・血管内皮成長因子（VEGF）

血管形成を促進します。

・線維芽細胞増殖因子（FGF）

内皮細胞および線維芽細胞の増殖を促進します。 血管形成を刺激します。

治療の方法について

　（治療の流れ）　採血　⇒　PRP分離　⇒　施術

　　　　すべての治療は当日中に完了します。原則として、麻酔は必要ありません。

1. 採血　：　1キット約13.5～15mLの血液を採取します。
2. PRP分離　：　採取した血液を遠心分離しPRPを作製します。

　　　　　　　　　　この間、患者様は待合室にてお待ちください。（15分程度）

1. 施術　：　超音波で正確な損傷部位を確認しなから穿刺し、注入していきます。

　　治療当日の激しい運動や飲酒、マッサージなど治療部位に刺激が加わるようなことはお控えください。

　　また、治療部位の感染を防ぐため、当日の入浴はお控えください。

治療の欠点と副作用について

・患者様ご自身の血液を使用するため体調や年齢などに左右され、場合によっては安定した効果が

出にくいといった欠点があります（治療効果・効果の持続期間には個人差があります）。

・施術時、患部への注入には痛みを伴います。

・施術後数日間、治療部位に腫れ・痛み・熱感が出ます。

・腫れは治療部位によっては1週間程度続くことがあります。

・採血部位・治療部位に皮下出血が起こる場合があります。

　　※腫れ・痛み・熱感・内出血などは一時的ですが、症状が強く出た場合はご相談ください。

　　　 腫れや熱感を早く改善するためには、クーリング（冷やすこと）をお勧めいたします。

他の治療法との比較について

今回行うPRP治療以外にも、現在次のような治療が行われています。

・ステロイド剤を用いた治療

　抗炎症作用を期待して、ステロイド剤を用いた治療が通常診療で行われていますが、逆にステロイド剤の

副作用で重篤な感染症の誘発・骨粗鬆症の増悪・薬剤離脱困難等が生じてしまう可能性があります。

・ヒアルロン酸を用いた治療

　ヒアルロン酸は関節腔内に注入されるとクッションのような働きをし、痛みを和らげる効果がありますが、

作用効果が短期間であるため反復性の治療が求められます。

以上も踏まえ、PRP治療をお受けになるか否かをご検討ください。

その他治療についての注意事項

患者様の体調が良くない場合や、採取した血液の状態によっては、PRPを分離できないことがあります。

その際には、再度採血をさせていただく場合があります。

また、PRPを濃縮する機器は定期的にメンテナンスを行っていますが、突然の不具合発生により、治療の日程やお時間を変更させていただくことがございますので、ご理解の程お願いいたします。

同意撤回について

この治療に関して同意した後、患者様のご意思で同意を撤回することができます。同意を撤回することで患者様に不利益が生じることはありません。

ただし、施術後の撤回については、これに該当しません。

個人情報の取り扱いについて

患者様に関する身体の状態や記録など、プライバシーの保護には充分配慮いたします。今後、学術雑誌や学会にて結果や経過・治療部位の写真などを公表する可能性がありますが、患者様個人を特定できる内容が使われることはありません。本治療に関わる個人情報は、当院管理者によって法に基づき厳正に管理されております。

治療にかかる費用について

この治療は公的保険の対象ではありませんので、当院所定の施術料をお支払いいただきます。

Arthrex 製　　ACPダブルシリンジ

　　 　・採血量15ml／PRP投与量 約3-4ml　　 30,000円 (1回）

施術後、患者様の個人的な事情及び金銭等に関する問題に関しては一切の責を負いかねますので

ご了承ください。

この治療の審査を担当した委員会について

この治療は下記の認定再生医療等委員会で審査されております。

　　特定非営利活動法人　先端医療推進機構　認定再生医療等委員会名古屋

　　認定番号：NB4150001

担当医師及び相談窓口

担当医師：麻生総合病院　　整形外科部長　　　鈴木一秀

この治療について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なく担当医師にご相談ください。

また本治療へのご意見、ご質問、苦情なども担当医師をはじめ以下の窓口で承ります。

　　　　　相談受付窓口：麻生総合病院　　事務部　　（電話番号044-987-2522）

以上、この説明書内に記載されている治療の経過や状態などはあくまで平均的なものであり、個人差があることをご了承ください。

万一偶発的に緊急事態が起きた場合は、最善の処置を行います。

なお、治療に関して患者様が当院及び医師の指示に従っていただけない場合、当院は一切の責を負いかねますのでご了承ください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　PRP療法実施医療機関名：医療法人社団　総生会　麻生総合病院

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住 　　　　所：神奈川県川崎市麻生区上麻生6-25-1

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電　　　 　話：044-987-2522（代表）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　管　理　者：院長　 菅　泰博